

釜石発

「津波シェルター」販売開始

海上浮遊型の津波避難シェルターが釜石で公開されました。広島県の造船会社が開発したもので、今後は山田町に設立した子会社で建造される予定です。シェルターはアルミ合金製で海上に浮く構造となっており、構造や強度など国土交通省が定める基準をクリアしています。長さ8.7メートル、幅2.3メートル。内部の高さ170センチのキャビンには21人分のシートがあり、1週間分の飲料水や非常食のほか、トイレも装備されています。津波の発生時に高台への避難が即座にできない場合に乗り込み、一時的に身の安全を確保するものです。1艇およそ1500万円で販売されていますが、すでに南海トラフ沖地震が起きた場合に大きな被害が予想されている静岡県の自治体などから問い合わせがあるということです。(11/28 ニュースエコー)



宮古発

「三陸の海の幸」新商品

宮古市の宮古水産物商業協同組合が水産業復興のシンボルにと三陸の海の幸を使った新商品を開発しました。地元で獲れたイサダと呼ばれる小海老を練り込んださつま揚げ『おきあみーと』と、脂ののったサクラマス粕漬けにした『へしこ』の2種類です。開発に当たっては、キリングループと日本財団が被災地の復興支援を行なっている「キリン絆プロジェクト」の支援を受けました。試食会では、新たな「宮古の味」に参加者の評判も上々でした。宮古水産物商業協同組合では来年春の販売開始を目指し、復興の起爆剤として売り込んでいきたいと話していました。(11/28 ニュースエコー)



陸前高田発

「消防防災センター」再建



東日本大震災で被災した陸前高田市の消防防災センターが、市役所に隣接する高台に再建され一般公開が行われました。7000平方メー

トルの敷地に、震度6強レベルの地震にも耐える鉄筋コンクリート造りの2階建ての庁舎が建てられたほか、一部5階建ての体験棟が整備されました。センターでの本格的業務は12月16日から開始予定です。(12/1 ニュースエコー)

陸前高田発

「気仙トンネル」着工



復興道路として工事が進む三陸沿岸道路の気仙トンネルの着工式が陸前高田市で行われました。気仙トンネルは、陸前高田市竹駒町と宮城県気仙沼市唐桑町を結ぶ「唐桑高田道路」に2か所設けられるトンネルのうちの一つです。長さ706メートル、中央分離帯がある2車線の予定です。着工式では地元・気仙小学校の6年生16人が

工事の安全と復興への思いを込めた気仙町けんか七夕太鼓を披露しました。トンネルは来年11月に貫通する予定です。(12/2 ニュースエコー)



陸前高田発

さんりく元気ラジオ！

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、陸前高田市米崎町で作られている「米崎りんご」について、栽培農家の松本さんにりんご畑でお話を聞いてくれました。日照時間も長く潮風に吹かれて育つ米崎りんごは、完熟させてから収穫するため甘くて美味しいと評判です。今は蜜入りの「サンフジ」が収穫を迎えています。今年も豊作となり、県内外に出荷されているという事です。阿部さんは、店頭で「米崎りんご」を見つけたらぜひ味わって欲しいと話していました。(12/3)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122